

サラッとさえると超カッコいい！

英語脳

ネイティブっぽい

定番セリフ

50

後半25
フレーズ

サラッとさえると超カッコいい！

ネイティブ定番セリフ 50 フレーズ

【後半 25 : 無料トランスクリプトと解説】

26 It's a long shot.

「ちょっと無理そうだね」「あまり期待出来ないね」

a long shot は球技やスポーツにおける長距離のショットのことだから、ちょっと無理そうなこと、可能性が低いことや期待が薄いことを表すよ。だから、「ちょっと無理かな」とか「可能性は低いね」という時に使う定番セリフなんだ。

27 You're pulling my leg.

「冗談でしょう？」「嘘でしょう？」

pull one's leg を直訳すれば「人の足を引っ張る」という意味だけど、この表現は人の「足を引っ張る」「邪魔をする」という意味ではなく、「からかう」「冗談をいう」という意味なんだ。だから、You're pulling my leg. といえば「おいおい、またまた冗談だろう？」っていう定番セリフになるよ。似た表現に You're kidding. や You're joking. なんていうのもあるね。

28 I'm in a pickle.

「ちょっと困ったことになってる」

pickle は「ピクルス」というように「漬け物」のこと、そんな漬け物の漬け汁の中に入れてしまっている...ということから「ちょっと困っている」「ちょっと厄介なことになっている」という意味を表す定番セリフだよ。確かに漬け物の汁の中に入れられたら困るかも...

29 That's a no-go.

「それはダメだ」「無理だ」

no-go は「立ち入り禁止」とか「中止」のこと。つまり That's a no-go. といえば、「それはダメだよ」「それは無理だよ」といった禁止や制止を表す定番セリフになるんだ。

30 all talk

「口先だけの人」「はったり」

all talk はまさに「すべてが話だけ」という意味だから、例えば口先ばかりで何もやらない人のことを He's all talk. なんて言うんだ。「あいつは口先ばかりだよ」といった意味だね。

31 It's a win-win.

「ウィンウィンだね」「お互いに利益がある」

Win-win は日本語でも「ウィンウィンな関係」みたいに言うから知っている人も多いよね。英語では「お互いに利益がある」という意味だけでなく「どちらに転んでもいい」というニュアンスでも使うよ。ちなみに対義語は lose-lose といって「双方にマイナスな」という意味になるよ。

32 I'm swamped.

「超忙しいんだ」「忙殺されている」

swamp は「沼地」のことで、ドロドロの沼にはまったように身動きが取れない状態から「忙しい」「にっちもさっちもいかない」みたいな意味で使われるよ。

33 Catch my drift?

「言ってることわかる？」

drift は「漂流」とか「傾向」「動向」といった意味の他、話の「趣旨」っていう意味もあるんだ。だから、直訳すれば「私の言っている趣旨がキャッチ出来ましたか？」ということだから「言っていること、わかる？」っていう定番セリフになるんだね。

34 It's a game-changer.

「ゲームチェンジャーだね」

最近では game-changer なんていう表現も日本語ではよく使われているけれど、これは元々、試合やゲームの流れを大きく変える人や物事のこと、それが転じてビジネスや社会の風潮などに大変革をもたらす人や物事のことを指すようになったんだ。

35 a party pooper

「パーティをシラケさせる人」

pooper は「うちをする人」のことだけど、ここでの pooper は「場をシラケさせる人・台無しにする人」のことだよ。例えばパーティーでネガティブなことを言ったり、皆が引くようなことをやったりする人のことを a party pooper っていうんだ。He's a real party-pooper. っていうえば「アイツって本当に場をシラケさせるよな」みたいな意味になるよ。

36 the real deal

「一流の本物」「半端なく優れた存在」

the real deal は何か特別な才能があったり、本当に優れた技術を持っていたりする人のことや、半端なく優れている存在のこと表すんだ。He is the real deal. っていうえば「彼は真の才能の持ち主だ」という意味になるよ。

37 a hot mess

「大混乱」「大変な状態」「滅茶苦茶」

hot mess は文脈によって意味が変わるけれど、基本的には「大混乱」「大変」「メチャクチャ」といった意味があるよ。例えば慌てふためいている女性のことを She's a hot mess. といえ「彼女、大変な感じだね」とか「彼女、メチャクチャだね」といった意味のセリフになるよ。

38 You're a lifesaver.

「あなたは命の恩人です」

これは比較的簡単な定番セリフだね。lifesaver は文字通り「命を救ってくれた恩人」という意味の他、浮き輪などの「救命具」とか「救助隊員」という意味もあるよ。

39 got me stumped

「まいったなあ」「困ったなあ」

got me stumped は主語が自分のことを困らせる、参らせるという意味の定番セリフだよ。バリエーションとして I'm stumped.「困ったなあ」「私にはお手上げです」といった定番セリフもあるんだ。

40 It's a blast.

「楽しい時間」「最高の経験」

blast は「突風」「爆発」「爆風」といった意味の他、「楽しい時間・経験」という意味があるよ。例えば楽しい時間を過ごした後の挨拶として It's been a blast! 「とても楽しかったよ」なんていうよ。

41 a couch potato

「カウチポテト」「ソファで横になり何もしない人」

couch はソファーや長椅子のこと、potato は「ジャガイモ」のこと。つまり、ソファーに寝そべってジャガイモみたいにゴロツと動かないでいる人のことを a couch potato っていうんだ。

42 a tough cookie

「タフな人」「手ごわい人」

tough cookie は直訳で「硬いクッキー」のこと。転じて「タフな人」「手ごわい人」っていう意味の定番表現になるよ。例えば He's such a tough cookie. といえば「彼はなんてタフな男なんだ」みたいな意味になるんだ。

43 I'm running late.

「遅れそう」「遅刻しちゃうそう」

I'm late. っていうえば「遅刻した」っていう意味、つまり既に遅刻している状態を表すけれど、I'm running late. はまだ遅刻が確定していなくて、このままでは「遅刻しちゃう！」っていう時に使う定番セリフなんだ。

44 I'm hanging by a thread.

「ギリギリの状態で持ち堪えている」

動画の前編で Hang in there!「頑張れ！」っていうのがあったけれど、hang は「ぶら下がる」「吊り下がる」という意味があるんだ。そして a thread は「一本の細い糸」のこと。要するに「一本の糸で何とかぶら下がっている」＝「ギリギリの状態で持ち堪えている」という意味の定番セリフになるんだね。

45 in the doghouse

「気まずい状況にある」「面目を失う」

ワンちゃんが悪いことをして叱られると「ハウス！」って言われて犬小屋に入ってシュンとしちゃうけれど、まさにその状況を表すのがこの表現だよ。例えば He's in the doghouse. といえば「彼は怒られて落ち込んでいるよ」という意味になる。人に怒られたり非難されたりしてシュンとしちゃった状態を表すんだ。

46 a wild goose chase

「無駄な努力」

wild goose は「野生のガチョウ」のことで、これを chase「追いかける」のは至難の業だったことから、a wild goose chase というと「無駄な努力」という意味になるよ。例えば、一生懸命頑張ったけれど It turned out to be a wild goose chase. といえば「結局、それは無駄な努力に終わった」という意味になるんだ。

47 a know-it-all

「知ったかぶり」

know-it-all は「知ったかぶり(をする人)」っていう意味。例えば He's a know-it-all. なら「彼は何でも知っているつもりなんだ」といった意味になるよ。他にも She showed me a know-it-all attitude. なら「彼女は知ったかぶりの態度を私に示した」って感じ。

48 I'm over the moon!

「とってもハッピー！」

over は何かを「越えて」っていう意味があるから、moon「月」を越えて行くほどハッピー、幸せ！っていう意味の定番セリフだね。

49 I'm feeling blue.

「憂鬱だ」

日本語でも「ブルーな気分」なんて言うけれど、feel blue はまさに「憂鬱な気分」のことだよ。ここでは I'm feeling のように現在進行形になっているけれど、これは今だけの一時的な気分を表すよ。

50 a pain in the neck

「悩みの種」「面倒なこと」

直訳すれば a pain in the neck は「首の痛み」ということだけど、転じて「悩みの種」とか「面倒なこと」といった意味で使われるんだ。何か面倒なことやイヤなことについて It's a pain in the neck! っていうえば「それが悩みの種なんだよ」という定番セリフになるよ。